



市長 医療情報がスムーズに提供され、ケアプランに生かされるように、地元医師会・歯科医師会・医療機関との連携を推進する。

急増する生活保護世帯について

議員 安定就労や生活保護からの自立を目指しても、求人少なさが高い壁となつている。受給者の就労意欲と能力の向上が一番の課題でもある。本市の取り組みについてたずねる。

市長 7月から新たな支援の取り組みをハローワークと協定を結んで実施しており、きめ細かく積極的な就労支援を行っている。

角田訓也議員

西部ブロックごみ処理
広域化について

議員 適地選定業務が遅れている理由をたずねる。

市長 本格作業に取りかかるための体制づくりに時間を要している。候補地選定を含め一定の結果を来年度中に出すという業務全体のスケジュールは、遅れることがないように進めていく。

震災がれき受け入れについて

議員 環境省が全国の自治体に、震災がれきの受け入れの検討状況や受け入れ可能量を調査した。本市は、どのように対応したのか。

市長 本市は独自の焼却施設や最終処分場は持っていないので、受け入れることはできないと回答した。関係する一部事務組合は、受け入れを前提とした考えを持っていないと回答した。

市民病院について

議員 市民病院の改革プランに対する評価委員会の分析では、16項目中、外来患者数・病床利用率等の5項目が計画に届いていない。また、院長・管理局長の定年で4月からの病院経営に不安を感じているが、どのような立て直しを考えているのか。

市長 医師の確保が最重要課題であると認識している。院長の後任は、岡山大学医学部に優秀な人材の推薦をお願いした。また、病院事務に精通した優秀な人材の外部からの登用やプロパー職員の採用を行うなど、組織強化を図っていきたい。



市民病院

田口忠義議員

笠岡市地域防災計画について

議員 本市の防災計画には被害予測があり、それに対する被災防止の諸施策はあるが、例えば死者を50%にするにはどの施策をいつまでに実施するというような目標とスケジュールがないと思われる。改善計画があるのか。

市長 洪水・地震・火災・津波といったそれぞれの災害に対応する具体的な実施計画を策定する必要があると考えているので、地域防災計画の見直しの中で合わせて取り組んでいきたい。

住宅用火災警報器について

議員 さらに普及率を上げるためには、地域での顔が見える活動が必要だと思う。地域の組織の方に、再度全戸調査をしてもらい、一括



購入してつけてもらってはどうか。

消防長 今、国が施策を考えている。4月には示されるので、それに基づいて、全世帯に回れるように、自主防災組織等の方にお願ひするようになると思う。

スポーツ選手に対する融資制度の新設について

議員 全国・国際レベルのスポーツ選手が本市に在住している。一定レベルの国際大会等への遠征費に対する融資制度を新設すべきと思うが、考えをたずねる。

教育長 国際大会等へ出場する選手や家族のニーズを把握して、考えていきたい。